

令和7年度 第2回県立綾瀬西高等学校学校運営協議会 議事録

1. 日時 令和7年9月27日（土）10：30～12：10
（文化祭一般公開日）

2. 場所 綾瀬西高等学校 応接室および校内

3. 出席者 ○委員

多田 由紀江 （綾瀬西高等学校長）
河原 克宣 （桐蔭横浜大学客員教授）
潮田 三明 （綾瀬西高等学校元 PTA 会長）
倉下 学 （社会福祉法人「道志会」事務長）
林 沙樹 （綾瀬西デイサービスセンター長）
熊本 丈力 （綾瀬市立城山中学校長）
大部 さつき （綾瀬市手をつなぐ育成会会長）
渡辺 美奈 （綾瀬西高等学校 PTA 会長）

○教職員

田中 昌広 （綾瀬西高等学校副校長）
落合 護 （綾瀬西高等学校教頭）
小林 美和子 （綾瀬西高等学校事務長）

4. 次第 （1）開会
（2）校長挨拶
（3）本日の予定確認
（4）校内見学
（5）意見交換
（6）その他
（7）閉会

5. 議事要旨

○校長挨拶

・本日は文化祭公開日にご来校いただき感謝申し上げます。昨年度文化祭でのQRコード決裁導入等に加えて、本年度は、来場者パンフレットを電子化致しました。QRコード決裁が利用しにくい来場者様については、本校入口で現金でのチケット販売で対応しております。先ほど綾瀬市長が来校されステージでの太鼓演奏もご披露いただきました。文化祭テーマは「みんなが綾なす文化祭」として、地域の方や市役所様とのとの交流を含めて活動させていただきます。校内をご覧いただき、後ほどご意見ください。

○意見交換

- ・来校お客様も多かった。生徒は努力しつつも、いきいきと楽しんでおり、活気があった。
- ・発表や飾り付けが、個性的で素晴らしく、学校の良いところが、多く見られた。
- ・落ちているゴミや、ゴミ箱の中身も少なく綺麗でよかった。生徒・職員の努力がうかがえる。
- ・地域、綾瀬市行政との繋がりなど、地域に開かれた学校であることがよくわかった。
- ・出し物を作成の際に、生徒間の合意形成を通して、生徒の成長を期待できる良い場である。
- ・昨日にデイサービス利用者と共に参加した。昨日も楽しめた。
- ・自分の顔を覚えていた在校生、現中学生、元中学生に声をかけてもらい楽しく過ごせた。
- ・QRコード決裁ではなく、金券チケットを利用したが、不慣れな出展会計係生徒もいた。
- ・教室棟奥の出展が、お客様の動線としては、うまく繋がっていないようだった。集中的に配置できるといいと感じた。
- ・食品販売が盛況だったが、同じ種類の食品の出展が重なっており、種類を多くできると良いのではないだろうか。

- ・本日の文化祭を見ていただき、皆さんの本校の理解が進んだとの事で、ありがたい。
- ・生徒の合意形成の過程で、生徒間の意見の相違も聞いているが、それも成長の一過程であってほしいと考えている。

- ・第1回の会議の際に、「働き方改革」に関する、「部活動指導員」の導入の進捗について教えてほしい。

・「部活動インストラクター」が多くの部活動についており、助かっている。また、職員間での部活動指導の分担による負担軽減について指導している。ただ、部活動を積極的に取り組んでいる職員の「働き甲斐」とのバランスにも配慮をしている。予算を含めて、「働き方改革」を今後も進めていく。

○その他

- ・第3回学校運営協議会を3月に予定させていただく。この後も、青綾祭をご自由にご見学ください。

以 上